



2025 年 11 月 18 日
一般社団法人日本パレット協会事務局

「パレットの日」記念講演会の実施内容について

当協会では 11 月 12 日、今年で 4 回目となる「パレットの日」記念講演会をリモート形式で実施しました。

コロナ禍での広報活動として、一般の方々に「もっとパレットを身近に感じていただく」ことを目的に開始しましたが、4 回目を迎えた今回は「解決されない物流の結節点における長時間の荷待ち・荷役」について、過去、現在、未来の視点から 3 名の講師に講演いただきました。

具体的には、55 年前の日本型パレットプール制度導入を目指すも実現できなかった経緯の分析や、現在進められているパレット標準化や物流改善の豊洲市場等の事例、今後の法改正施行や物流拠点整備を通じて地方創生や自動化推進を図る方向性などを分かりやすく講演いただきました。

今回も荷主、物流を始め一般の方々も広く参加いただきました。今後も当協会として、パレットは地味な存在ながら、物流の持続可能性実現に向けて重要な役割を果たしていることを広く知っていただくため、引き続き活動を進めてまいります。

以上

<お問い合わせ>

03-6458-5580 / info@jpa-pallet.or.jp

担当：岸波



一般社団法人日本パレット協会 パレットの日 2025



【プログラム詳細】

14:45 (プレオープン/14:30)

開会 日本パレット協会会長 二村篤志 による挨拶



15:00~15:30

「標準化に躓いた日本の物流史 ~半世紀前の失敗に学ぶ」

物流博物館 主任学芸員 玉井幹司氏

終戦後日本ではパレットが急速に普及し、規格も数百に。回収の効率化のため欧州型パレットプールを目指すも頓挫、この教訓を今に活かすには？

15:40~16:10

「日本の物流の現在地 ~持続可能な物流の実現は？」

NX総合研究所 シニアコンサルタント 室賀利一氏

2024年問題の経過を分析し、長年パレット物流に関する調査を続けてきた研究者が「日本の物流の現在地」を数的データをベースに解説します)

16:15~16:45

「物流が未来をつくる ~自動運転、地方創生、暮らしと社会」

流通経済大学流通情報学部 教授 大島弘明氏

「持続可能な物流」の実現の先には何が見えるのか？未来に向けて自動運転、人口減社会で暮らしや産業の維持、発展に物流が出来る事、期待される事とは？)

16:45

まとめと閉会 日本パレット協会 専務理事 宿谷 肇 (16:55終了予定)

お問い合わせ先：一般社団法人日本パレット協会 URL : <http://www.jpa-pallet.or.jp>

〒101-0021 東京都千代田区外神田2-2-17 喜助お茶の水ビル9階

TEL 03(6458)5580 FAX 03 (3251) 3550

「物流用パレットを知る」 「社会問題をみんなで考える」